

会員病院紹介

医療法人朗源会

おおくま病院



病院長 谷口 英治



はじめに

朗源会大隈病院は70年余りにわたって尼崎市杭瀬の地で地域に密着した医療を提供してきましたが、施設の老朽化に伴い2024年11月、阪神尼崎駅近くに新築移転して、名称も「朗源会おおくま病院」と変更してリニューアルオープンいたしました。病院の持つ堅苦しい雰囲気や敷居を払拭し「病院らしくない病院作り」をコンセプトに、ホテルを思わせる外観やインテリアを意識して建設されています。一般外来診療ならびに入院診療147床（地域包括ケア病棟99床、医療療養病棟48床）はそのまま引き継いでいます。機能的には入院透析を可能にするために透析室（3ベッド）を造設したことが目立った変化といえます。

閉鎖しました旧病院と現病院は約1.8kmの距離ではありますが、高齢者の多い杭瀬地区の患者様の便宜を図る目的で旧病院近くに「おおくまクリニック」を開業して内科診療を提供するとともに、クリニックとおおくま病院をむすぶ定期シャトルバスを運行して連携を図っています。当然電子カルテも連携しています。

「病気を治すだけでなく患者さんの心も癒す」

という当院の理念のもと、地域の人々に信頼されるかかりつけ病院となるよう努力してまいりたいと考えています。

診療内容

1. 外来診療

8名の常勤医師によって内科、循環器科、外科、整形外科、泌尿器科診療を行っております。一般診療のほかに特徴としては、肝硬変などによる難治性腹水の患者様に対してCART療法（腹水濾過再静注療法）を積極的に実施していることが挙げられます。また、短期入院での胃瘻造設やCVポート造設のご依頼にもお応えしています。

さらには形成外科、ペインクリニック、心臓血管外科、呼吸器内科、整形外科、心療内科においては、より専門的な診療を可能とするために非常勤医師を招聘して、地域の皆様のニーズにお応えしています。

検査に関しては、レントゲン、CT、MRI、超音波エコー、上部・下部消化器内視鏡検査などの画像診断や、主な血液検査も院内で随時可能です。MRI装置はオープン型MRIを導入しており、閉所恐怖症の患者様でも受けていただきやすくなっています。これらの検査は、近隣の開業医の先生からのご依頼や、自院ではなかなか予約がとりにくい大病院の先生方からのオーダーにも対応させていただきます。地域の皆様やかかりつけの患者様の体調不良、熱発といった、軽症から中等症までの救急患者様の受け入れも積極的に行っております。

2. 入院診療

当院では、2014年に厚生労働省が推進する地域包括ケアシステムの一環として地域包括ケア病棟が新設されましたところ、いち早くこれを取り入れて、現在計3フロアで構成される入院病床のうち2フロアを地域包括ケア病棟に、残る1フロアを医療療養病棟という構成で入院診療を行っております。

「地域包括ケア病棟」では、急性期病院からご紹介いただくいわゆるPost-acute症例と、かかりつけや近隣住民の緊急入院症例や、近隣の開業医の先生からご紹介いただく救急患者様などのいわゆるSub-acute症例の受け皿となっており、当院での比率では若干Sub-acuteが多い傾向にあります。

また、新病院には人工透析室（3ベッド）を設置して2025年2月より入院透析が可能となっております。まだまだ導入して間もないことより症例を制限して実施しておりますが、徐々に実施症例数を増やしていく予定です。

整形外科においては県立尼崎総合医療センターから医師を招聘して、手の外科手術などを行っています。これに応じて必要な訓練を受けた作業療法士が専門的なりハビリテーションを行うことが可能となっております。

3階フロアは「医療療養病棟」ですが、当院では医療必要度の高い患者さんを中心に入院していただいています。

当院の特色と強み

活発に院内連携を行っていますので、診療科を超えた診療が可能です。また、医師、看護師、リハビリテーション科、栄養科、ソーシャルワーカーを交えた症例カンファレンスを定期的を開催しており、治療方針や在宅復帰に向けた目標設定、さらには自宅の環境整備などの諸問題を多職種で日々議論しております。

リハビリテーション科は理学療法士18名、作業療法士5名、言語聴覚士3名からなり、入院中のリハビリはもちろん、通所・訪問リハビリも実施しており、入院治療を終え退院した後でも継続してリハビリを受けていただくことが可能です。また、必要な入院患者さんに対しては回復期リハビリテーション病棟に匹敵するような濃厚なりハビリを提供させていただいています。

病院食に関しては、外部委託されている病院が多い中、当院では直営で給食を提供しています。管理栄養士13名、調理師5名がこれにあたっていますが、多数の栄養士が在籍しているために患者との個別面談を頻繁に行ってきめ細かい嗜好調査

や栄養管理などが可能となっております。さらには退院後に自宅でも入院中と同じ食事がとれるように、形態や病状に合わせた内容を工夫した病院食をお弁当にして退院後の患者様に提供して、退院後もサポートさせていただく工夫をしています。

このように、入院から在宅療養、外来通院など、いろんな段階の患者様に対応して、切れ目のない医療サービスを提供できる準備をしていることが当院の強みと考えています。

病院理念

病気を治すだけでなく、患者さんの心も癒す。

基本方針

1. 地域の人々に信頼される病院になります。
2. 高度の医療機能を持つ かかりつけ病院になります。
3. 病気を治すだけでなく、病める人の心を癒す病院になります。
4. 職員が勉強し、朗らかでやりがいのある職場をつくりまします。

病院概要

名称：医療法人朗源会 おおくま病院

所在地：兵庫県尼崎市昭和通2-12-8

管理者：病院長 谷口英治

病床数：147床（地域包括ケア病床99床、医療療養病床48床）

診療科目：内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科・外科・整形外科・心臓血管外科・消化器外科・肛門外科・放射線科・泌尿器科・リハビリテーション科・形成外科・ペインクリニック科

主な指定：兵庫県救急告示医療機関

尼崎市二次救急輪番制当番病院

病院沿革

昭和16年2月 大隈義朗 大阪市に大隈外科開設

昭和19年9月 空襲により医院消失

昭和26年3月 尼崎市に大隈外科医院を再開

昭和47年1月 大隈義彦 医院を継承

昭和55年12月 大隈病院に改築（50床）

- 昭和60年12月 医療法人 朗源会設立
- 昭和62年11月 大隈病院 増改築 (99床)
- 平成6年11月 大隈病院 増改築 (151床)
- 平成21年3月 大隈病院附属歯科クリニック開設
- 平成30年6月 大隈病院病床数変更 (147床)
大隈健英理事長就任、齊田宏院長
就任
- 令和6年10月 おおくまクリニック外来診療開始
- 令和6年11月 おおくま病院として尼崎市昭和通
りに新築移転
- 令和6年12月 谷口英治院長就任

——— 関連施設 ———

- 朗源会 大隈病院附属歯科クリニック
- 朗源会 おおくま透析クリニック
- 朗源会 在宅事業部
- すこやか会 おおくまクリニック
- ほがらか会 特別養護老人ホーム ほがらか苑



1階フロア



個室病室



透析室



オープン型MRI